

3月

玉川ホーム園長 佐藤 君子

この度の東日本大震災は、誰もが経験したことのない災害でした。一瞬のうちに多くの大切な人や物が失われるという悲しい出来事に、いまだ信じられない思いを誰もが抱いているのではないのでしょうか。今もまだ、昼夜を問わず続く余震に不安を覚えることがあります。被災された皆様には謹んでお見舞い申し上げますとともに尊い生命を失われた皆様のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

当ホームでは、震度6の強震にも関わらず、利用者の皆様はご無事でした。一時期情報網が寸断されてご家族の皆様と連絡が取れず、ご心配をおかけいたし申し訳ございませんでした。断水などにより生活が不自由となりましたが、現在ではライフラインも復旧しました。利用者の皆様が、通常の生活に戻り安心して過ごすことができるにはもう少し時間がかかると思いますが、職員一同努力してまいります。

日本中が、復興に向けて歩き始めております。一人ひとりの力は小さくても、多くの人たちの知恵と勇気と行動力で困難を乗り越えることができると信じております。

私事ですが、3月末日をもちまして退職いたします。在職中は、公私共に大変お世話になり、ありがとうございます。利用者の皆様、ご家族様の益々のご健勝とご多幸を心からお祈りいたします。

楽しくお祝い * ひな祭り茶話会 *

3月3日木曜日、ひな祭り茶話会が行われました。

会では、ひなあられや甘酒を味わい、カラオケや職員の余興で楽しみました。

皆さん、「お腹が痛くなるほど笑っちゃった。」と、笑顔でお話していました。



一緒に鳴子を振って♪

職員による「よさこい」



祝 二瓶ナヨ様百歳賀寿贈呈

おめでとうございます！



ますますお元気に♪



3月22日火曜日、中央棟の二瓶ナヨ様が百歳の誕生日を迎えられました。福島県と郡山市より記念品、太田福祉記念会より祝い金が贈呈されると、二瓶様は感激され、「ありがとう、ありがとう。」と、涙ぐまれていました。二瓶様、これからも元気に過ごしてください。

鯉の旨煮を寄付していただきました！



3月10日木曜日、県南鯉養殖漁業協同組合の皆さんより、鯉の旨煮を寄付していただきました。

郡山の名産品に、皆さん舌鼓。笑顔いっぱいの食卓となりました。

4月の予定

- | | |
|-----------|--------|
| 6日・20日(水) | 生け花クラブ |
| 7日・21日(木) | 書道クラブ |
| 13日(水) | 誕生会 |
| 20日(水) | お花見 |



～ こだま会の皆さんとの交流会 ～

華麗な舞を披露☆



「ステキだね。」



3月9日水曜日、こだま会の皆さんとの交流会が行われました。

「みだれ髪」や「無法松の一生」等、馴染みのある音楽に合わせた華麗な踊りや唄に、利用者の皆さんは大きな拍手を送っていました。

【編集後記】今年度はゲリラ豪雨、猛暑、大雪、大地震…と、色々なことがありました。そして、改めて物の大切さを思い知らされました。来年度は、明るく楽しい年でありますように…。 (S・S)

平成22年度を振り返って ～各所属・委員会より～

ひらお

中央棟介護職

介護長 平尾 寿美子

今年度は各フロアー毎の活動になりましたが、それぞれの個性が表れ、利用者一人ひとりのケアについても、昨年度より連携もとれ、深く関わることができ、利用者・職員共々生き生きとした表情が見られました。また、研修・勉強会等を通して、知識や技術の再確認と向上に努めることができました。

アニマルセラピー、お出かけ支援、ふるさと訪問等の実施と「カフェたまがわ」では憩いの場ができ、ひと時の安らぎとおいしい物が食べられ、皆さん笑顔でいっぱいでした。

みずかみ

機能訓練職

機能訓練指導員 水上 輝彦

コミュニケーションを大切に、利用者の皆さんの体調に合わせて訓練を実施することができました。

いつも笑顔で訓練することができました。来年度も、笑顔を大切にしていきたいと思います。

こみや ひろたか

相談職

副主任生活相談員 古宮 広隆

今年度は、利用者・ご家族の皆さんとの関わりを密にすることを目標としました。全ての利用者・ご家族との関わりまではできませんでしたが、来年度も引き続き努力していきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

かんば しげこ

栄養・調理職

主任栄養士 神場 成子

利用者の皆さんの希望を取り入れた栄養ケア計画を作成し、食事を提供することができました。

事務職

事務員 滝田 和弘

利用者の皆さんに、安全・安心な生活を送っていただけるよう、努めてまいりました。今後も、利用者の皆様と職員双方をバックアップしていきたいと思っております。

排泄改善委員会

副委員長 加藤 千津子

一人ひとりの身体の状態を理解して、水分摂取量の見直しや個別排泄パターンの把握を進めてまいりました。オムツを使用していた方が何人もトイレに行けるようになり、私たちもうれしく思っています。今後も定期的に見直し、継続していきたいと思っております。

感染症対策委員会

委員長 星 弘子

嘔吐・下痢等で感染症防止の対応をしておりますが、ノロウイルス等の発症はありませんでした。ただ12月中旬に風邪の利用者が増加したので、行事や面会等を制限し、重症化することなく軽快しました。ご協力ありがとうございました。インフルエンザワクチン接種については、体調不良者を除き希望者は摂取できました。

つやこ

研修委員会

委員長 國分 艶子

園外の研修参加や、各グループ等での勉強会を実施し、利用者の皆さんへの接遇向上に努めました。

今後も、利用者の皆さんに心地よく日常生活を過ごしていただけるよう努力したいと思っております。

たまえ

褥瘡対策委員会

委員長 阿部 珠枝

良肢位の保持や体位変換、陰部洗浄等テーマをあげて、実際に現場で行なってみました。継続することが予防につながると再確認できました。皮膚が赤いということが褥瘡の初期の段階であるということを皆で意識統一し対応することで、褥瘡を悪化させずに治癒できました。

これからも、予防・早期治癒に努め、利用者の皆さんに質の高いケアを提供できるように努力していきたいと思っております。

かんば しげこ

食事サービス委員会

委員長 神場 成子

嗜好調査を行い、利用者の皆さんの希望を取り入れた選択食やバイキング食を提供することができました。

行事委員会

委員長 星 美奈子

一年を振り返り、各行事を通して季節を感じていただけたのではないかと思います。また、かわいらしい幼稚園児の訪問や、本格的な創作舞踊、そして今年が初めての「わんこ遊ぼう」等、地域の皆さんにもご協力いただき、今年度も無事に終えることができました。

これからも、皆さんに楽しんでいただけるよう頑張っていきたいと思っております。